

## 航空レーザー測量による上高地梓川流域の積雪深分布 Measurement of snow depth distribution in the Kamikochi-Azusa river basin using an airborne laser scanning

鈴木 啓助<sup>1\*</sup>, 佐々木 明彦<sup>1</sup>  
Keisuke Suzuki<sup>1\*</sup>, Akihiko SASAKI<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 信州大学山岳科学総合研究所  
<sup>1</sup>Institute of Mountain Science, Shinshu University

航空レーザー測量では、GPSにより航空機の3次元位置を精確に求め、航空機から地上をレーザー・スキャンすることにより航空機から地上までの距離を計測し、地表面(冬季は積雪表面)の3次元座標を算出する。無積雪期と積雪期に航空レーザー測量を実施することにより、同じ水平座標について地表面高と積雪表面高が得られるので、その差分が積雪深になる。2012年積雪期に上高地梓川流域において航空レーザー測量を行ったので、無積雪期との差分により得られた積雪深分布を報告する。

キーワード: 積雪深, 上高地梓川, 航空レーザー測量  
Keywords: snow depth, Kamikochi-Azusa river, airborne laser scanning